

回 答

団体名（日本労働組合総連合会大阪府連合会）

（要望項目）

6-②(2) 交通渋滞解消の取り組み

大阪市内への車の乗り入れ削減の取り組みとして、府域全体の設置に向け商業施設や企業の施設など、企業の協力を得ながらパークアンドライドの設置拡大に向け施策を強化すること。また、近畿圏交通実態調査結果をもとに、より効果的な施策が策定できるように有識者、関係団体、労働団体が参加する協議体で議論すること。

（回答）

パークアンドライドは、郊外から都市中心部への自家用車の流入を抑制でき、交通渋滞の緩和や都市環境の改善に有効です。大阪府内では、公共駐車場のほか民間商業施設等の協力を得て、定期利用のパークアンドライド駐車場が運営されており、大阪府でも Web ページにて、32 か所の駐車場について案内しているところです。また、大阪府江坂駐車場及び茨木地下駐車場においては、管理運営を行う指定管理者により、パークアンドライド時に一時利用の駐車料金を割引するサービスを昨年 11 月に開始しているところです。

この他、府内の鉄道駅前には多くの民間駐車場が立地しており、パークアンドライド駐車場として活用されているものと考えられます。

しかしながら、パークアンドライドは、郊外から都市中心部の自動車からの利用転換を促す一方で、郊外域（出発地から鉄道駅まで）の移動についてバス等の公共交通から自動車への転換を逆に誘導するという側面もあります。

今後は、先頃実施した近畿圏交通実態調査（パーソントリップ調査）の分析結果も参考にしながら、パークアンドライドの定量的な効果を把握し、より効果的な施策について検討するとともに、必要に応じて関係者の意見をお聞きします。

（回答部局課名）

都市整備部 交通道路室 都市交通課